

長期貸出

貸出期間が2週間の利用者
貸出日：12月14日(金)～27日(木)
→返却期限：1月15日(火)

貸出日：1月22日(火)～3月30日(土)
→返却期限：4月15日(月)

予約・延長手続きの受付停止

試験にともない、予約・貸出延長ができません。
期間：1月15日(火)～2月4日(月)

試験期間中の窓口業務時間の変更

試験期間中は、9時10分から窓口業務を開始します。
期間：1月22日(火)～2月4日(月)※日曜除く


短縮開館


開館時間：9時30分～18時
期間：2月20日(水)～3月30日(土)


卒業生・修了生の皆さんへ

最終の返却期限は3月19日(火)です。
卒業・修了後も館内資料の閲覧・貸出、オーディオコーナーの利用ができます。2階カウンターで利用申請をしてください。

知っておきたい
図書館のマナー

 飲食禁止。(水分補給はOK)
密閉できない飲食物は
持ち込み不可です。

携帯電話は
マナーモードに。
通話は禁止です。


 本は大切に。
書き込みや水ぬれなどは
弁償の対象になります。

図書館の快適な環境づくりにご協力ください

第27回 学生選書モニター報告

6月16日(土)にジュンク堂書店大阪本店にて学生選書モニターを実施しました。選書冊数は全458冊。その中から、既に図書館で所蔵しているものなどを除いた379冊を受け入れました。選ばれた本は学生選書図書コーナーに配架中。図書リストのファイルもありますので、ぜひご活用ください。



第27回学生選書モニター参加者

学生選書モニターは、
学生のみなさんが書店へ行って図書館に置いて
ほしい本を選ぶイベントだよ。



大阪産業大学総合図書館報図書館だよりNo.49
平成30年11月21日 発行

編集・発行 大阪産業大学総合図書館
大阪府大東市中垣内3丁目1-1
TEL.072-875-3001(代表) FAX.072-873-1664(直通)
http://www.osaka-sandai.ac.jp/lib/
印刷 有限会社オーエスユー・デジタルメディアファクトリー

携帯電話から蔵書検索(OPAC)にアクセスできます。
<https://osirabe.net/osaka-su/>



★次号『図書館だより』は2019年5月に発行予定です。

この印刷物は、再生紙を使用しております。

Quiz 日本で初めて冷房車両を導入した鉄道は？ 1.近鉄 2.南海 3.京阪

宇宙のかなたを見てみよう

～望遠鏡の歴史をひもとく～

2018年5月、本学デザイン工学部環境理工学科 井上昭雄准教授と橋本拓也博士研究員、東京大学(元本学博士研究員)の馬渡健氏、国立天文台などで組織された国際研究チームがアルマ望遠鏡を使って史上最遠方・132.8億光年かなたの銀河で酸素を検出した事を発表しました！このビッグニュースを受け、今号では望遠鏡の歴史とそれにまつわる図書館の資料をご紹介します。

宇宙は138億年前にビッグバンで生まれたとされています。星の誕生・消滅時には酸素などさまざまな元素が発生します。今回観測した銀河では宇宙誕生から2.5億年後には活発な星の形成が始まっていたと考えられます。宇宙の誕生初期の様子をさぐる貴重な発見ですね！



1609年 **ガリレオ式望遠鏡**
光学望遠鏡
世界ではじめて望遠鏡で天体観測を行ったのは、あの有名なガリレオ・ガリレイ。2枚のレンズを組み合わせた手製の望遠鏡で太陽の黒点や月面クレーターなどを観測した。
資料紹介：『星界の報告』ガリレオ・ガリレイ著 3F文庫 ブンコ/6959

1990年 **ハッブル望遠鏡**
光学式宇宙望遠鏡
地上600km上空の軌道上を周回観測する宇宙望遠鏡。観測のさまたげとなる大気の外から観測するため、クリアな画像を見ることができる。
資料紹介：『ハッブル宇宙望遠鏡 時空を超えた宇宙の絶景』
2F閉架視聴覚 440/1/DVD
DVDはオーディオコーナーで見ることができますよ！

1999年 **すばる望遠鏡**
大型光学赤外線望遠鏡
ハワイ島山頂に設置された日本の国立天文台が運営する望遠鏡。天体が放つ可視光線から目に見えない赤外線までキャッチ。圧倒的な視野の広さ・解像度の高さを誇る。
資料紹介：『宇宙へのまなざし すばる望遠鏡天体画像集(ビジュアル天文学)』
国立天文台編 4F図書 440.87/10

2011年 **アルマ望遠鏡**
電波望遠鏡
チリの高地砂漠に設置された大型パラボラアンテナ66台ではるか遠方の星から放たれる電波をとらえる。ハッブル、すばるより10倍視力が良い！
資料紹介：『アルマ望遠鏡が見た宇宙』平松正頭監修 4F図書 442.3/10
英国科学雑誌『Nature』Vol.557,no.7705(2018年5月17日号)に井上准教授の研究成果が掲載！3階学術雑誌のコーナーで読んでね。

井上准教授が選んだ
天文学の本 宇宙の本
井上准教授おすすめの図書です。図書館でぜひご利用ください。
『現代天文学入門 インターネット望遠鏡で観測！』慶應義塾大学インターネット望遠鏡プロジェクト編 4F図書 440/89
『大宇宙驚異の新発見 最新の画像とデータで知る現代天文学の最先端』白田-佐藤功美子著 4F図書 440/88
『銀河と宇宙の階層構造』(シリーズ現代の天文学 第2版『銀河1』)谷口義明、岡村定矩、祖父江義明編 4F図書 443.6/13/1

アルマ望遠鏡による研究で、132.8億光年前の宇宙の姿が明らかになってきました。まるでタイムマシンのような望遠鏡に想いを馳せながら、ロマンあふれる秋の夜空を見上げてみてはいかがでしょうか？

編集後記

本学准教授の研究チームが、アルマ望遠鏡を使って観測史上最遠方の銀河に酸素を発見！この世界的ビッグニュースは、新聞でも大きく掲載されました。データベース「聞蔵IIビジュアル(朝日新聞)」でも閲覧できます。今号の特集で宇宙のかなたに興味を持たれた方は、図書館のウェブページからアクセスしてみてください。(H・O)

図書館をより良く活用するために



スポーツ健康学部
スポーツ健康学科
准教授

國本 明德
KUNIMOTO AKINORI

◆プロフィール

○研究分野
体育学

○研究テーマ
生涯スポーツと地域社会
生涯スポーツイベントと
スポーツボランティア

○著書
『生涯スポーツ実践論：生涯スポーツを学ぶ人たちにー改訂第3版ー』
(市村出版) 4F図書 780/169

『スポーツイベントのマーケティング』
(市村出版) 4F図書 780/126

○講演DVD
大阪産業大学市民講座
『サッカーの基礎について』
(大阪産業大学[産業研究所])
2F閉架視聴覚
379.5/7/14 DVD

「図書館をどのように利用していますか?」と問われると、ほとんどの学生の皆さんはレポートや卒業研究の作成といった、学習をするために利用していると答えることでしょうか。しかし、ネット社会の影響でしょうか、図書館を見渡すと閲覧机で本を開いて学習している学生よりも、マルチメディアコーナーでパソコンを利用している学生の方が多くいるような気がします。またスマホを片手に調べものをしている学生も少なくありません。つまり、パソコンやネット環境が整ってさえいればレポート作成等ができ、その方がむしろ効率が良いと考えているのでしょうか。効率の良さを求めることは決して悪くはありませんが、これでは図書館の機能を十二分に活用できていないのではないのでしょうか。周知の通り、ネット上の情報は信憑性が低いものもあり、書籍のすべてが公開されているわけではありませんので、クオリティの高いレポートや卒業研究を書くためには、図書館に所蔵されている書籍や貴重な資料を活用すべきです。加えて、学習や研究を進めていく上で、必要な文献・資料や情報の収集を支援する「レファレンスサービス」もあります。特に卒業研究で行き詰まったら一人で悩まず、このサービスを積極的に利用してみましょう。きっと視界がクリアになるはずですよ。

ところで、皆さんは「ラーニング・commons」を利用したことはありますか? ここには“もう一つの図書館”があります。これまでの図書館は一人で黙々と勉強するイメージがありましたが、今や学習方法も多岐にわたり、利用する学生同士で知識やアイデアを生み出し、共有することができる場ができました。ここ、ラーニング・commonsでは仲間同士での会話がOKで、かつプレゼンテーションも含めたディスカッションもでき、グループ学習には最適な環境となっています。また限定されてはいますが、ドリンクを飲めるスペースもできました。ここでは息抜きもでき、リラックスしながら仲間と楽しく談話することもできるようになっています。

このように、図書館では基幹となる機能は残しながらも、気軽に足を運んで楽しく学習することもできるようになりました。学生の皆さん、自身の学習スタイルに合った利用方法を今一度考えてみて、図書館を有効活用していきましょう。

みんなが選んだ

あんな本こんな本



第27回「学生選書モニター」で選ばれた図書の中からご紹介します。
12月末まで学生選書図書コーナーに配架中です。ぜひご利用ください。

勉強の哲学

来たるべきバカのために
千葉雅也著

勉強を深めることで、これまでのノリでできた「バカなこと」が、いったんできなくなる。だが、その先には「来たるべきバカ」に変身する可能性が開けている。思想界をリードする気鋭の哲学者による本格的勉強論。

2F図書 002/91

あだ名で読む中世史

ヨーロッパ王侯貴族の名づけと家門意識をさかのぼる
岡地稔著

赤髭王、青齒王、獅子心王…。なぜ多くの王侯が「あだ名」で呼ばれ、しかもそれが長く伝わることになったのか。ヨーロッパ中世の「あだ名文化」の実態とその背景を解き明かし、命名や家門にまつわる疑問の数々に光をあてる。

2F図書 288.12/6

特集で
話題!

スーパー望遠鏡「アルマ」が見た宇宙

福井康雄編著



スーパー望遠鏡アルマのもたらした超高分解能の世界は、巨大ブラックホールの存在を明らかにし、惑星形成の痕跡を発見した。アルマを使った初期の観測結果を中心に、バールをはがされた「宇宙の素顔」を余すところなく描く。

4F図書 442.3/12

大人が読みたいエジソンの話

発明王にはネタ本があった!?
石川憲二著

「孤高の天才」「生い立ちはかなり個性的」「超人的な行動力」…。そんな一般的に信じられているエジソン像とは異なる、合理的で商才に長けたエジソンの思考と行動の数々を痛快なタッチで綴る。

4F図書 507.1/26



猫はこうして地球を征服した

人の脳からインターネット、生態系まで
アビゲイル・タッカー著 西田美緒子訳

猫は多くの人びとを魅了し、世界中の都市・自然の生態系で増え続け、インターネットでも爆発的人气を得ている。人を手なずけ、最強の王者となった猫の秘密を解き明かす。

4F図書 645.7/5

大いなる眠り

レイモンド・チャンドラー著 村上春樹訳

スターウッド將軍は、娘が非合法の賭場で作った借金をネタに、ある男に金を要求されていた。マローウが男の自宅の周囲を調べていると、屋敷の中で3発の銃声が轟いた…。「私立探偵フィリップ・マローウ」シリーズの新訳。

3F図書 933.7/265

※書籍内容紹介:TRC MARCより

Quizの答え

2.南海

1936年、南海電鉄が屋根に冷房装置を備えた電車を日本で初めて試運転させました。しかし、戦時色が強くなったため冷房は贅沢品と言われ、たった2年間で運転終了となったようです。南海電鉄の車両といえば、1938年に製造されたものが本学に寄贈されています。製造されてから80年も経ちますが、現在も当時の面影を感じることができますよ。

詳しくは

📖 電車の進歩細見:
ようこそ。電車の発達史へ
4F図書 546.5/66

📖 南海電鉄のひみつ
4F図書 686.06/200

